製品安全データシート

１．製品等及び会社情報

1.1. 製品の特定

製品名：　ローヤルアローＥＸコート水垢取り

製品分類：　洗剤

主な用途：　自動車外装用洗浄剤

１．２ 会社情報

会社名：　株式会社ユーエスシー

住所：　〒１８３－００４４　東京都府中市日鋼町１番１　Ｊタワー

担当部門：　技術部　担当者：

電話番号：　０４２－３５１－００１１　ＦＡＸ番号：　０４２－３５１－００１０

e-mail：

改訂日：　２０１７年　３月１３日

２ 危険有害性の要約

最も重要な危険有害性及び影響

GHS 分類

物理化学的危険性	
引火性液体	区分３
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分２
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分外
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分外
標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	区分３
標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分２
吸引性呼吸器有害性	区分１
環境に対する有害性	
水生環境性有害性	区分１
水生環境慢性有害性	区分１
オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル表示

・絵表示またはシンボル：

・注意喚起語：危険

・危険有害性情報：引火性液体及び蒸気

皮膚刺激

飲み込むと有害

眠気及びめまいのおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

長期または反復ばく露による肝臓、精巣の障害のおそれ

飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

水生生物に非常に強い毒性

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

＜取扱い上の注意＞

・すべての説明書きを読み、理解してから使用すること。
・上記用途以外には使用しないこと。
・換気の良い場所で使用し、容器は使用ごとに密栓すること。
・ミストの発散を抑え、作業環境濃度をできるだけ低く保つように努めること。
・発生させたミストは吸い込まないようにすること。
・取扱い時は、適切な保護具を着用すること。
・取扱い後は、うがい・洗顔を行うこと。作業衣等に付着した場合は着替えること。
・他の薬剤と混合させないこと。
・裸火や高温のものから遠ざけること。－禁煙
・取扱い後良く手を洗うこと。
・環境への放出は避けること。

＜保管上の注意＞

・液が漏出しないように密栓すること。
・高温多湿下での保管を避けること。
・凍結の恐れのある場所での保管を避けること。
・高温体との接触を避けること。

＜応急措置＞

目に入った場合：目に入った場合は流水で少なくとも１５分間以上洗眼する。コンタクトレンズははずし洗眼の際、瞼を指で良く開いて眼球，瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。刺激等の異常が残る場合には直ちに医師の診断を受ける。

吸入した場合　：多量にミスト等吸引した場合、直ちに新鮮な空気の場所へ移し保温しながら安静にする。呼吸が困難な場合、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けを緩めて人工呼吸を行う。呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合、気分が回復しない場合は直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付いた場合：直ちに汚染した衣類、靴を脱ぎ、付着した部位を多量の水と石鹸を使って洗い流す。刺激が残る場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し、多量の水を飲ませ、吐き出させる。直ちに医師の診断を受ける。意識のない場合は口から何も与えてはならない。

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

含有成分及び含有量

成分名	含有量wt%	CAS　No.	化審法No	安衛法No	PRTR法	毒劇物法
ミネラルスピリット	35-40	8052-41-3	非該当	551	非該当	非該当
シリコーン類	非公開	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
研磨剤	非公開	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
増粘剤	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当	非該当
界面活性剤	非公開	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
精製水	バランス	7732-18-5	非該当	非該当	非該当	非該当

注）化審法No.　化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号
安衛法No.　労働安全衛生法（安衛法）第 57 条の 2 第 1 項政令指定物質の政令番号
PRTR 法No.　特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR 法）対象化学物質の政令番号

4 応急措置

目に入った場合　：直ちに清浄な流水で少なくとも１５分間以上洗眼する。
コンタクトレンズははずし、洗眼の際、瞼を指で良く開いて眼球，瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。

刺激等の異常が残る場合には直ちに医師の診断を受ける。
皮膚に付いた場合：直ちに汚染した衣類、靴を脱ぎ、付着した部位を多量の水と石鹸を使って洗い流す
刺激が残る場合は医師の診断を受ける。

吸入した場合　：多量にミスト等吸引した場合、直ちに新鮮な空気の場所へ移し保温しながら安静にする。呼吸が困難な場合、ネクタイ・ベルト・ウエストバンド等の衣類の締め付けを緩めて人工呼吸を行う。

呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合、気分が回復しない場合は直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：直ちに水で口を洗った後コップ１～２杯の水を飲ませ吐き出させ、直ちに医師の診断を受ける。
意識のない場合は、口から何も与えてはならない

---

5 火災時の措置

消火剤　　粉末　炭酸ガス　泡消火器

使ってはならない消火剤　　なし

消火方法　　火元への燃焼元を断つ。初期消火には、粉末、炭酸ガス、泡消火器等を用いる。

消火者の保護 適切な保護具（保護手袋、保護マスク、保護眼鏡）を着用する。

---

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項　漏出防止、除外などの作業は、必ず、保護具を着用する。
環境に対する注意事項
流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
回収、中和などの浄化の方法
多量の場合　土嚢で流出を防ぎ、ポンプ等で空容器に回収する。
その後、漏出区域周辺を多量の水で洗い流すこと。洗浄した水は地面や排水溝等にそのまま流さないこと。回収して適当な容器に入れる。
少量の場合　ウエス、おがくず等に吸収させて空容器に回収する。残りは多量の水で洗い流す。

---

7 取扱い及び保管上の注意

＜取り扱い上の注意＞
換気の良い場所で使用し、容器は使用毎に密栓する。
ミストの発散を抑え、作業環境濃度を出来るだけ低く保つように努める。
発生させたミストは吸い込まないようにする。
取扱い時は、適切な保護具を着用する。
取扱い後は、うがい・洗顔を行うこと。作業衣等に付着した場合は着替えること。
他の薬剤と混合させないこと。
付近に着火源となるもの(火気・スパーク・高温物)の使用を避ける。
＜保管上の注意＞
液が漏出しないように密栓する。
高温多湿化での保管を避ける。
凍結の恐れのある場所での保管を避ける。
高温体との接触を避ける。

---

8 ばく露防止措置及び保護処置

＜組成物の有害性及びばく露濃度基準＞

原料名	管理濃度	許容濃度 ACGIH(TWA)	許容濃度 IARC	その他
ミネラルターペン	設定されていない	100ppm	設定されていない	情報なし
シリコーン類	設定されていない	設定されていない	情報なし	情報なし
研磨剤	10(mg/m3)	2 (mg/m3)	情報なし	情報なし

＜製品の有害性及びばく露濃度基準＞
管理濃度　　設定されていない
許容濃度
日本産業衛生学会　設定されていない
ＡＣＧＩＨ　　設定されていない
保護具　　保護眼がね、保護手袋等　有機溶剤用保護マスク

設備対策　　防爆の電気機器の使用、局所排気装置

9 物理及び化学的性質

外観	白色エマルジョン液体
臭気	石油臭
比重	０．９－１．０（原液　２０℃）
ｐＨ	９．５－１０．５（アルカリ性）
溶解性	水に分散する
引火点	５０～６０℃(灯油として)
爆発限界	（下限）１ vol％　（上限）７　vol ％（ミネラルスピリットとして）
蒸気圧	データなし
可燃性	燃焼する
発火点	データなし
酸化性	なし

10 安定性及び反応性

安定性	通常の取り扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して化学的に安定。
避けるべき条件	高温　スパーク　裸火
混融危険物質	なし
危険有害な分解生成物	なし

11 有害性情報

製品についての有害性情報はないため、成分についての有害性データを示した。

ミネラルスピリット

急性毒性

経口	ラット	LD50＞2g/kg
経皮	ウサギ	LD50＞2g/kg
吸入(蒸気)	ラット	LC50＞5mg/kg

皮膚腐食性　　情報なし

皮膚刺激性　　弱い刺激性あり

眼に重篤な損傷・刺激性　高濃度の蒸気やミストは眼を刺激する。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器　高濃度の蒸気を吸入すると呼吸器を刺激したり、頭痛、めまい、麻痺症状、眠気、意識をなくすなどの原因となる。

生殖細胞変異原性　　生殖細胞を用いる in vivo 経世代変異原性試験であるラットおよびマウスを用いた優性致死試験で陰性の結果（EHC 187, 1996、ATSDR, 1995)、体細胞を用いる in vivo 変異原性試験であるマウス赤血球を用いた小核試験およびラット骨髄細胞を用いた染色体異常試験で陰性の結果（EHC 187, 1996、ATSDR, 1995）がある。

発がん性　　EU ではカテゴリー２に分類されているが、判断の根拠が不明であり、ヒトでの疫学調査データはいずれも評価の対象としては不充分であるとの記述から、データ不足のため分類できない、とした。
なお、NTP の Stoddard solvent IIC をラットおよびマウスに２年間吸入ばく露した発がん性試験では、雄ラットに some evidence of carcinogenic activity、雌マウスに equivocal evidence of carcinogenic activity が認められている（HSDB, 2005)、との記述がある。

生殖毒性　　EHC 187（1996)のラットを用いた妊娠中吸入ばく露試験において母動物に一般毒性が認められる用量でも明確な生殖毒性は認められなかったとの記述

シリコーン類　　現時点では、通常の取扱いによる有害性は確認されていない。

研磨剤

急性毒性	LCL0　375　mg/m3　６０日間投与
慢性毒性	過剰の量を吸入すると、肺病の可能性あり
皮膚腐食性	情報なし
皮膚刺激性	刺激の可能性あり
眼に重篤な損傷・刺激性	眼にダストが入ると痛みを伴う可能性あり
生殖細胞変異原性	in vivo 経世代変異原性試験（ラット、マウス）：陰性
発がん性	ＮＴＰ　リストアップされていない
	ＬＡＲＣ　リストアップされていない
	ＯＳＨＡ　リストアップされていない
その他	情報なし

12 環境影響情報

製品についての有害性情報はないため成分についての有害情報性を示した

ミネラルスピリット

水生環境急性有害性　　甲殻類（オオミジンコ）の４８時間 LC50＝0.42～2.3mg/L

水生環境慢性有害性　　急速分解性がない（BOD による分解度：12-13%）、生物蓄積性不明

シリコーン類　　現在のところ、有用な情報は得られていない

研磨剤　　生分解性なし

---

13 廃棄上の注意

廃液、容器等の廃棄物は、認可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

容器、製造装置などを洗浄した排水はそのまま流さないこと。

排水処理により発生した廃棄物についても　廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

---

１4 輸送上の注意

国連分類　クラス　３(引火性液体)

国連番号　１２６８

陸上輸送　取扱い及び保管上の注意の項に従う。

海上輸送　船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送　航空法に定めるところに従う。

注意事項　運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を完全に行う。

---

15 適用法令

消防法　　第４類引火性液体、第２石油類

労働安全衛生法　　第 57 条　名称などを通知すべき有害物：　５５１ミネラルスピリット

危険物引火性の物　：ミネラルスピリット

第３種有機溶剤など：ミネラルスピリット

毒物及び劇物取締法　該当せず

ＰＲＴＲ法　　該当せず

---

16 その他の情報

引用文献

- GHS 対応による混合物（化学物質）の MSDS 作成法の研修テキスト
  中央労働災害防止協会
- 15107 の化学商品　化学工業日報社
- 製品安全データシート　各原料メーカー
- ＧＨＳ分類対象物質一覧　独立行政法人　製品評価技術基盤機構
- 化学品の分類および表示に関する世界調和システム（ＧＨＳ）改訂４版　国際連合

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、上記の情報は新しい知見により
改訂されることがあります。又危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので製品の取扱いには充分注意して下さい。また、情報は安全を保証するものでは有りません。本品の適正な使用については使用者の責任において行ってください。

[会社情報]

販売者：南四国スズキ販売(株)
所在地：高知市高須新町1-1-50
TEL:088-884-2121